

超 空 想 住 宅 へ

【空想】(読み) くうそう、(英語表記) fantasy

〔名〕 現実とはかけ離れて新しく作り出された独特の想像のこと。

今、建築界に新たな風が吹き始めている。

BIM やデジタルファブリケーション技術から始まり、midjourney などの画像生成 AI や ChatGPT により、今までには考えられなかった建築が具現化するのではないかと話題である。

これは、言い換えると、これまで空想で留まった建築が現実化する可能性を示唆しているのではないだろうか。

さらには、midjourney や ChatGPT などの進歩は、建築を設計する行為自体へも影響し、近い将来の建築設計は大きな変革を迎え、AI 化が進むと言われている。

さて、皆さん、住宅はどこへ向かうと思いますか。

これまで通り、設計者が思考を巡らせ、手を動かして建ち現れる住宅には、もう魅了されないのだろうか。

様々な最先端技術のみを駆使して建ち現れる住宅は、どのくらい魅力的なのだろうか。

はたまた、様々な最先端技術や深い思考を織り交ぜて建ち現れる住宅は、どうなるのだろうか。

多様な手法・解釈がある今だからこそ、空想を超えた、未だかつて体感したことのない「超空想住宅」を募集する。

文：橋本 雅好 (審査員長)

募 集 要 項

●提出物

①プレゼンシート

用紙の大きさはA2判(420mm×594mm)とする。

着色など、表現上の制約はない。

各自の提案内容に沿って自由に提案すること。

※計画地、計画面積、家族形態、生活様式等の制限はない。

また独立住宅、集合住宅、その他の居住形態の制限もない。

- ・用紙は縦使い、または横使いとし、1枚(片面)にまとめること。
- ・パネルなど巻けないものは不可とする。また模型などは受付ない。
- ・プレゼンシートには氏名や暗号等目印となるものは記入しないこと。

②プレゼンシートのデータ:PDF形式

- ・データの保存名称には、作品名を記すこと。
- ・データはUSBメモリまたはCD-R、DVD-Rで提出のこと。
- ・ケースまたは盤面に作品タイトル、氏名を明記すること。

③申込用紙

Webサイトから専用の申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、提出のこと。

●応募資格

応募資格についての制限はない。

●応募締切

2023年10月10日(火)当日消印有効

●審査員(順不同・敬称略)

審査員長 橋本 雅好
(椋山女学園大学准教授)

ゲスト審査員 中山 英之
(東京藝術大学准教授/中山英之建築設計事務所)

審査員 亀井 暁子
(静岡文化芸術大学教授/JIA 会員)

山岸 綾
(中部大学准教授/サイクル・アーキテクト)

山口 千乃
(CEN ARCHIT)

吉元 学
(愛知淑徳大学教授/ワーク・キューブ/JIA 会員)

●表彰

金賞	1点	商品券10万円、賞状、記念品
銀賞	2点	商品券 5万円、賞状、記念品
銅賞	3点	商品券 3万円、賞状、記念品
奨励賞	若干名	学部生対象(高校、高専含む) 商品券 1万円、賞状、記念品
ゲスト審査員特別賞	若干名	商品券 1万円、賞状、記念品

●1次審査

日時:2023年10月21日(土)
1次審査通過者には11月上旬に通知予定。

●2次公開審査会・表彰式・記念講演会

日時:2023年12月2日(土)
会場・その他 詳細については、11月上旬にWebサイトにて公表予定。
※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、リモート審査になる可能性があります。

●その他

本設計競技の応募作品の著作権は応募者に帰属しますが、発表する権利は主催者が保有するものとします。(主催者の広告、ウェブサイト、その他の印刷物などへの掲載を含む。)

●提出先・お問い合わせ先

〒460-0008
名古屋市中区栄四丁目3の26 昭和ビル5階
(公社)日本建築家協会東海支部
E-mail:shibu@jia-tokai.org
※お問い合わせはメールにてお願い致します。



詳細はホームページにてご確認ください。

<http://www.jia-tokai.org/competition/top.htm>

主催:公益社団法人日本建築家協会東海支部

後援:一般社団法人日本建築学会東海支部